

# 商工だより

平成24年3月号

## 西坂建設(株)の指名停止期間緩和に関する「陳情書」が採択されました！

商工だより2月号でもお知らせしましたが、昨年発生した官製談合事件を受け、商工会が池田町議会議長宛に提出した、「西坂建設株式会社の指名停止期間緩和に関する陳情書」について、3月5日(月)に開かれた平成24年第1回池田町議会定例会において採決が行われ、6対5で賛成が上回り、「陳情書」が採択されました。

商工会は、1月16日に、商工会長名で町議会議長宛に「陳情書」(次ページ参照)を提出。町議会議長は、これを総務産業常任委員会に付託。総務産業常任委員会は、2回の会議(そのうち1回は田岡会長が参考人として意見陳述)を経て、不採択(委員長を除く4対1)との結論になりました。

3月5日の定例議会では、総務産業常任委員長から不採択となった理由等を含めた委員会審査報告がなされ、議場において討論が行われました。

2名の議員が賛成意見を、1名の議員が反対意見を述べ、議長を除く11名の議員による採決が行われました。結果は6対5で「陳情書」が採択されました。

議会で「陳情書」は採択されましたが、これらの処分は池田町長が下したものであり、最終的には、町長の判断ということになります。

商工会では、池田町長宛にも同様の「要望書」を提出しており、議会の意向を踏まえ、指名停止期間の緩和を期待したいと思います。

新聞報道によりますと、町長は「議会の意向は無視できぬ」、資格審査委員会からの報告を聞いた上で判断をすとしており、3月中には結論が出る見通しです。

なお、2月10日に行われた参考人意見陳述の中では、委員からの質問として、「**今後同じようなことがあればどこに基準を置いて、どう判断をするのか**」というのがありました。田岡会長は、「商工会としては、もし今回、談合に関して贈収賄なり金銭の授受があったとか、利益の供与があったということであれば、それは商工会としてはいくら地域経済のこととは言え、要望書は出さないというふうに思っています。商工会に基準はないが、入札に関しては公正であるべきだということは疑いないことなので、商工会員には、入札に関して公正に進めるよう文書等で通知をします。もし、金銭の授受等があった場合は、いくら地域経済が大変であっても、そういった要望書を提出することはありません。」と返答しています。

## 池田町議会議長宛の陳情書(全文)

平成24年1月16日

池田町議会議長 中島嘉彦様

陳情者

住所 中川郡池田町字大通1丁目35番地

団体名 池田町商工会

代表者名 会長 田岡 明洋 ㊟

西坂建設株式会社 の指名停止期間緩和に関する陳情書

### [ 陳情の趣旨 ]

池田町は、この度の官製談合事件について平成23年12月3日に西坂建設株式会社に対し、池田町の発注する工事に関して20ヶ月の重たい指名停止処分を課されました。

同社は明治38年創業以来106年の歴史を重ね本町の歴史とともに歩み、本町発展に寄与してきた地元企業でもあります。

同社はすでに、北海道開発局発注工事の3ヶ月指名停止、北海道発注工事に関しては、18ヶ月の指名停止処分がなされており、このままだと、会社の存続、21名にも及ぶ社員・従業員の雇用継続も困難になり、下請け業者、町内各業態など年々疲弊する池田町の地域経済にとっての影響は大なるものがあります。また、長期間の指名停止により、経営の見通しが不透明となり、企業としての今後が危惧されることから、対応が急がれるところでございます。

当会地区におきましても、行政人口の減少・消費人口の町外流出、先行き不安からくる消費の停滞など極めて深刻な事態となっており、同社の長期間に亘る指名停止処分は、それらを更に助長する結果になるものと思われまます。

事件そのものは、法律に違反したものであり、決して正当化するものではなく、西坂達雄氏も強く反省しているところでございます。

今回の処分については、池田町の諸規定に沿ったものと理解はいたしておりますが、本書の陳情趣旨をご理解いただきたく、お願い申し上げます。

### [ 陳情項目 ]

競争入札参加資格者指名停止期間の緩和

上記「陳情書」については、池田町議会での審議案件であったことから、内容等について掲載を差し控えておりましたが、町議会としての結論が出ましたので、今月号で掲載することといたしました。ご了承ください。

## 《お知らせコーナー》

### 「北海道ガーデンショー」の前売り券取り扱い中

本年6月2日(土)から開催される「北海道ガーデンショー」の前売り券を取扱いしています。  
購入希望の方は商工会まで申し出ください。

#### 「北海道ガーデンショー」

- ① 期 間 平成24年6月2日(土)から平成24年10月8日(祝)
- ② 場 所 清水町「十勝千年の森」
- ③ 前売り券発売期間  
平成24年6月1日まで。
- ④ 前売り券 一般 1,000円(当日券は1,500円)  
※中高・学生は当日券(500円)のみ。前売りはありません。

### 「大相撲十勝場所」チケット前売り先行予約受け付け中

十勝で、15年ぶりの開催となる「大相撲十勝場所」が、本年8月5日(日)に、音更町アグリアリーナで開催されます。

商工会では、チケットの前売り先行予約を受け付け中です。

詳細については、同送のチラシを参照してください。

なお、先行予約の締め切りは4月10日(火)までとなっております。期限厳守をお願いします。

チケットは、先行予約締め切り後、席割等を行い送付されてきます。また、チケットの席割は先着順となっております。希望に添えない場合がありますので、ご了承ください。

### 『池田警察署からのお知らせ』①

3月1日夕方から2日の朝にかけて池田町内で「車上ねらい」が4件連続して発生し、現金等が盗まれています。先月から豊頃町、浦幌町でも車上ねらいが連続発生しています。駐車の際は、自宅敷地内、車庫内であっても油断せず「センサーライト等を活用し、明るい場所に駐車する」、「車内に現金、荷物を乗せたままにしない」、「確実なドアロック」の3原則で被害を防ぎましょう。

また、「見慣れない車や人を見かけた」、「懐中電灯の光が見える」といった小さな情報から犯人検挙につながるケースもあります。少しでも「おかしい」と感じたら110番または池田警察署(572-0110)への通報をお願いします。

### 『池田警察署からのお知らせ』②

3月3日午後10時42分ころ、JR根室本線を走行中の特急列車の運転士が、池田町内の線路内で発煙筒がたかかっているのを発見。列車を緊急停止させました。付近で踏切事故等の発生はなく、列車の往来を妨害する目的のもと認められます。このような行為は鉄道のダイヤが乱れるだけでなく、重大な事故につながる可能性もあり、池田警察署では威力業務妨害事件として捜査するとともに、パトロールを強化しています。皆さんも線路の近くで不審な人や車を目撃した際には、積極的な通報をお願いします。

### 『池田警察署からのお知らせ』③

3月13日に池田警察署管内で『押し買い』業者によるトラブルが発生しました。『押し買い』業者は、出張買い取りを依頼した訳でないのに突然自宅を訪ねてきて、身分もきちんと明かさずに「金やネックレスを買い取っています」等と自宅にある貴金属の買い取りを要求してきます。一度断っても強引に自宅に上がろうとしたり、「バッグでも何でもいいので売ってください」としつこく勧誘し、簡単には帰りません。

最近全道でも、強引な『押し買い』業者に貴金属を通常よりはるかに安い値段で買い取られてしまい、後

から買い戻そうとしても業者の連絡先が分からないといったトラブルが多数報告されています。知らない業者や人が突然訪ねて場合には、ドアを開けずに対応し、甘い話でも安易に乗らないでキッパリ断りましょう。

### 『釧路地方法務局帯広支局からのお知らせ』

インターネットを利用した登記事項証明書の請求「かんたん証明書請求」の運用を昨年2月14日から運用しています。オンライン請求により、出向く手間が省ける、発行手数料が窓口請求より安くなるなどの利点があります。詳しくは、登記・供託オンライン申請システム、登記ネット、供託ネットのホームページを参照してください。http://www.touki-kyoutaku-net.moj.go.jp

## 《コラム》

### 東日本大震災から1年

昨年の3月11日、午後2時46分。M9.0の東日本大震災が発生し、日本が経験したことのない未曾有の大災害となった。亡くなった方の数は15,000人超、未だに3,000人以上の方が行方不明のまま。

早いものであれから1年。1年経ったのに復興は始まったばかり。被災地、被災された人々の事を思うと心が痛む。

当日は、事務所で地震を感じ、すぐテレビのスイッチを入れた。最大震度7。阪神・淡路大震災・新潟県中越地震と同じ揺れが東北を襲った。池田町でも震度4を記録するなど、そのエネルギーの大きさに度肝を抜かれた。

東日本大震災は、大きな揺れだけではなかった。東北・北海道・関東地方を襲った巨大津波。リアルタイムで放映された巨大津波が沿岸部に襲来する様子。まるでSF映画を見ているかのような臨場感。思い出だけで心が痛む。

この1年、政治の無力さを思い知る。大震災の復興を行う「復興庁」なる新たな組織が発足したのは本年2月である。なんと11ヶ月も経過してからだ。復興に最優先で取り組むという言葉は何だったのか？期待をしていただけに、その裏切りは怒りを通り越す。反面、世界中からの支援・励ましは、私たち国民の心に深く刻まれた。

昨年10月、岩手県山田町で、青年部が中心となり、「牛の丸焼き」を被災地の皆さんに届けた。山田町へは、行政支援として役場職員・町民が延べ人数で71名訪れている。

「陸中山田十勝ワイン友の会」が縁でこのようなことになった。私自身も、私的・公的に友の会の皆さんとは交流があり、特に会長の佐々木さんとは、今でもお付き合いをさせてもらっている。震災直後、安否が気になり何度となく電話をしたが、繋がらなかった。連絡がとれたのは、10日ほど後だった。佐々木会長の声を聞き、涙が出た。「無事でよかった！」「全てを失ったが、命があるだけで有難い」その言葉が頭に浸み込んだ。

3月17日、西部コミセンで岩手県山田町復興支援事業「～絆～北国から復興を願って」が行われた。災害協定締結式、山田町沼崎町長の基調講演、町民交流会など約160名の人に参加した。

首都直下型地震が話題になっている。池田町も平成15年9月以来大きな地震に見舞われていない。地震はいつ、どこで発生するか分からない。周到的な準備が必要だ。

「被災地の1日も早い復興を祈りたい。」

(T・O)

## 商工会月刊ダイアリー

### 4月

2日 新年度

5日 道補助金実績報告

於 十勝総合振興局